

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	読解(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	502教室
担当教員	福嶋 香理	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>中級レベル(JLPT N3合格を目標に文法テキストに沿って進める。情報を取ったり、内容を大まかに取る練習をしながら、いろいろなテーマの文を読む。日本の習慣や文化も取り入れて、中上級へつなげる。毎回、宿題を出し、次の授業で小テストを行う。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 試験:70% 2. 出席:20% 3. 提出物:10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>授業ではハンドアウトを配ります。 使用教材:『みんなの日本語I 初級で読めるトピック25』、『みんなの日本語II 初級で読めるトピック25』、『日本語総まとめN3読解』、『日本語能力試験過去問題』などから抜粋、オリジナルハンドアウト使用。</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>授業では声に出して読むことはしませんが、習った文を読みながら、問題の解き方を復習することはとても大切です。キーワードや筆者が言いたいことなどに注意して読んでみてください。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>たくさん色々な文章を読んで、いろいろな知識を得ましょう。いろいろな文章を読んで読解の力をつけましょう。難しい言葉が出てきても、辞書を見ないで前後の文から把握し、読めるようになります。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	図や表、短い文から必要な情報を抜き取り、要旨を説明できるようになる。	『みんなの日本語I 初級で読めるトピック25』	復習課題	
	各コマにおける授業予定	ウォーミングアップ1~5				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	・図や短い文から必要な情報を抜き取り、要旨・要点を説明できるようになる。 ・短い文を読み、感想や意見、理由などの情報を読み取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語I 初級で読めるトピック25』	復習課題	
	各コマにおける授業予定	第6課、第8課、第9課				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	体験談を読み、書かれている情報を読み取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語I 初級で読めるトピック25』	復習課題	
	各コマにおける授業予定	第11課、第13課、第14課				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	・説明文を読み、情報を抜き取り、要旨・要点を説明できるようになる。 ・比較された文を読み、長所と短所を読み取り、要旨を説明できるようになる。	『みんなの日本語I 初級で読めるトピック25』	復習課題	
	各コマにおける授業予定	第17課、第18課				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	意見文を読み、情報を読み取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語I 初級で読めるトピック25』	復習課題	
	各コマにおける授業予定	第23課、第24課				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	インタビュー記事や紹介文を読み、情報を読み取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語 II 初級で読めるトピック25』	復習課題
		各コマにおける授業予定	第26課、第27課		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	説明文を読み、情報を抜き取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語 II 初級で読めるトピック25』、日本語能力試験対策問題集	復習課題
		各コマにおける授業予定	第32課、第35課、N4・短文		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	紹介文を読み、情報を読み取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語 II 初級で読めるトピック25』、日本語能力試験対策問題集	復習課題
		各コマにおける授業予定	第37課、第40課、N4・中文		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	・評論文、解説文を読み、情報を抜き取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語 II 初級で読めるトピック25』、日本語能力試験対策問題集	復習課題
		各コマにおける授業予定	第41課、第42課、N4・長文		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	・説明やデータから情報を読み取り、要旨・要点説明できるようになる。 ・物語を読み、登場人物の心情を読み取り、要旨・要点を説明できるようになる。	『みんなの日本語 II 初級で読めるトピック25』、日本語能力試験対策問題集	復習課題
		各コマにおける授業予定	第46課、第48課、N4・情報理解		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報を探し出す- 部分的内容を探すことができる。	N3教材から適宜抜粋	復習課題
		各コマにおける授業予定	広告、お知らせ、説明書き、リストなど		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	全体をつかむ- 全体的な内容を見て目的を探すことができる。	『日本語総まとめ N3 読解』	復習課題
		各コマにおける授業予定	ビジネスレター、張り紙、メーカーの説明書など		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	文章の仕組みを理解することができる(1)	『日本語総まとめ N3 読解』	復習課題
		各コマにおける授業予定	対比、言い換え、比喩		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	文章の仕組みを理解することができる(2)	『日本語総まとめ N3 読解』	復習課題
		各コマにおける授業予定	疑問提示、主張		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題を解く方法を身に付ける(1)	『日本語総まとめ N3 読解』	復習課題
		各コマにおける授業予定	指示語、5W1H (短文)		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	読解(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	502教室
担当教員	福嶋 香理	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>中級レベル(JLPT N3合格を目標に文法テキストに沿って進める。情報を取ったり、内容を大まかに取る練習をしながら、いろいろなテーマの文を読む。日本の習慣や文化も取り入れて、中上級へつなげる。毎回、宿題を出し、次の授業で小テストを行う。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 試験:70% 2. 出席:20% 3. 提出物:10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>授業ではハンドアウトを配ります。 使用教材:『みんなの日本語I 初級で読めるトピック25』、『みんなの日本語II 初級で読めるトピック25』、『日本語総まとめN3読解』、『日本語能力試験過去問題』などから抜粋、オリジナルハンドアウト使用。</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>授業では声に出して読むことはしませんが、習った文を読みながら、問題の解き方を復習することはとても大切です。キーワードや筆者が言いたいことなどに注意して読んでみてください。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>たくさん色々な文章を読んで、いろいろな知識を得ましょう。いろいろな文章を読んで読解の力をつけましょう。難しい言葉が出てきても、辞書を見ないで前後の文から把握し、読めるようになります。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題を解く方法を身に付ける(2)	使用教材から適宜抜粋	復習課題	
		各コマにおける授業予定	下線部の意味を問う、理由を問う、例を問う(短文)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	解き方を使って実践問題が解けるようになる。	使用教材から適宜抜粋	復習課題	
		各コマにおける授業予定	内容理解 中文(1)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	解き方を使って実践問題が解けるようになる。	使用教材から適宜抜粋	復習課題	
		各コマにおける授業予定	内容理解 中文(2)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	解き方を使って実践問題が解けるようになる。	使用教材から適宜抜粋	復習課題	
		各コマにおける授業予定	主張理解 長文(1)			
第20回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	解き方を使って実践問題が解けるようになる。	使用教材から適宜抜粋	復習課題	
		各コマにおける授業予定	主張理解 長文(2)			